

新規学卒者の産業別給与データ

人材の獲得や流出防止などのため、企業で賃上げの動きが活発になっています。ここでは新入社員を迎える時期に合わせ、新規学卒者（以下、新卒者）の給与に関するデータをみていきます。

学歴計は20万円程度に

今年2月時点での最新調査結果*から、10~99人規模の事業所における新卒者の所定内給与額をまとめると下表のとおりです。

学歴計の産業計は男性が**202.8**千円（前年比**2.6%**増）女性が**197.7**千円（同**1.1%**増）でした。産業別にみると、男性・女性ともに情報通信業が最も高くなりました。

高校卒は20万円未満が多い

高校卒の産業計は男性が**181.5**千円（前年比**0.7%**増）女性が**171.3**千円（同**0.5%**減）

となりました。産業別にみると、男性は教育・学習支援業が、女性は電気・ガス・熱供給・水道業が最高です。

大学卒は20万円を超える

大学卒の産業計は男性が**219.6**千円（前年比**4.2%**増）女性が**212.1**千円（同**1.2%**減）でした。産業別にみると男性は情報通信業が、女性は学術研究・専門・技術サービス業が最も高くなりました。なお女性はすべての産業で**20**万円を超えています。

今年の新卒者の給与はどのようなのでしょうか。

産業別学歴別新卒者の所定内給与額（2021年6月分、千円）

	学歴計		高校		大学	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
産業計	202.8	197.7	181.5	171.3	219.6	212.1
建設業	202.5	188.9	189.8	172.0	221.6	210.1
製造業	188.1	179.2	176.0	169.5	210.0	202.5
電気・ガス・熱供給・水道業	187.8	202.7	174.5	188.1	205.1	208.5
情報通信業	221.7	210.6	172.9	179.2	227.4	217.3
運輸業・郵便業	188.7	187.9	166.2	174.9	222.5	211.3
卸売業・小売業	210.3	195.4	172.5	169.8	222.7	209.9
金融業・保険業	211.4	197.6	-	164.8	210.4	211.7
不動産業・物品賃貸業	217.8	204.6	187.8	170.9	221.6	225.4
学術研究・専門・技術サービス業	203.9	205.7	178.7	165.3	221.5	226.3
宿泊業・飲食サービス業	179.4	190.0	177.0	167.5	187.1	220.6
生活関連サービス業・娯楽業	189.5	190.3	163.5	165.1	207.3	203.5
教育・学習支援業	212.7	205.6	233.9	178.1	214.5	213.7
サービス業（他に分類されないもの）	212.2	188.9	202.6	178.2	221.6	201.9

厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」より作成

*厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

全国の約78,000事業所を対象にした調査で有効回答率は72.0%です。所定内給与額とは、労働契約等であらかじめ定められている支給条件、算定方法により6月分として支給された現金給与額（きまって支給する現金給与額）のうち、超過労働給与額を差し引いた額で、所得税等を控除する前の額をいいます。詳細は次のURLのページから確認いただけます。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450091&tstat=000001011429>